

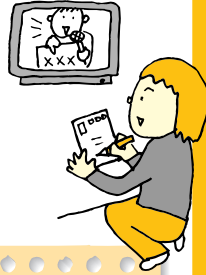
その
3

チェックしよう、メディアからの情報

「性」にかかわる情報は、メディアを通してどんどん私たちの生活の中に入りこんでいきます。最近では、若年層を中心にケータイの出会い系サイトからんだ事件が急増し、社会問題になっています。

表現の自由がある一方で、メディアや公共空間などにおいては、性や暴力表現を望まない人がそれに接しない自由もあります。

メディアの影響力を十分に認識し、興味本位の性情報や恋愛偏重の情報をうのみにするのではなく、自分なりの判断や見方ができるように情報を読み解く力をきたえていきましょう。



テレビの中の「性の商品化」チェック

やってみよう!

- ①テレビで放映されるドラマ、アニメ、CMなどをみます。
- ②あなたが、「これは性の商品化だ」と思うセリフやキャッチコピー、衣装などをワークシートに書き込みます。

タイトル	内容	対象	ここがおかしい
アニメ ○○○	小学校5年生の女の子の入浴シーン	小学生までの子ども	ストーリーの展開とは関係ない。「女の子」のからだが見世物のよう。

「自分を生きる21 男女共生教育教材・実践集」(大阪府人権教育研究協議会編)を参考に作成

男女共同参画社会をめざす情報紙HOW別冊号

編集発行: 東大阪市 人権文化部 男女共同参画課 〒577-8521 東大阪市荒本北50番地の4
TEL:06-4309-3300 FAX:06-4309-3823 Eメール: danjokyo@city.higashiosaka.osaka.jp
制作: (株) オフィス・オルタナティブ デザイン・レイアウト: 渡辺 朋子



わたしの「性」とからだは、わたし自身のもの

～「性の商品化」NO!に必要な3つのこと～

- ケータイの出会い系サイトにアクセスしたことがある
- 男性が性の主体で、女性は受け身であるべきだと思う
- 異性を意識して、からだづくりやダイエットに興味がある
- テレビの深夜番組は女性のあつかいが特にひどすぎると思う
- 少年マンガに登場する女の子はグラマーに描かれすぎだと思う

チェックの後は、ページを開いて・・・

